

Appointment and Web-based Communication Division

人事消息 ~平成31年3月31日付退職医師~					
副院長 住田 臣造	糖尿病・内分泌内科 石閑 哉生	糖尿病・内分泌内科 酒井健太郎	循環器内科副部長 土井 敦	循環器内科 大友 俊作	総合診療科部長 黒島 研美
腎臓内科 安孫子宗典	腎臓内科 長谷川 謙	消化器内科 太田 勝久	消化器内科 岸 法磨	呼吸器内科 渡部宗一郎	呼吸器内科 佐々原正幸
呼吸器外科部長 椎名 伸行	外科 東嶋 宏泰	外科 藏前 太郎	泌尿器科 桐澤 崇宏	歯科口腔外科 岡 久美子	病理診断科 上小倉佑機
脳神経外科 森島 穂	整形外科 清水 瞳也	整形外科 村田 宗平	麻酔科 児玉 萌	麻酔科 田中 聰一	麻酔科 田口 まゆ
臨床研修医 大屋 研一	臨床研修医 奥 雄暉	臨床研修医 幸前 和	臨床研修医 齋藤 翔太	臨床研修医 三浦 義一	臨床研修医 重元 守
臨床研修医 森 結子	臨床研修医 根符 勇二	臨床研修医 福家 章太	臨床研修医 今成 隼人	臨床研修医 藤石 晃大	

理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し質の高い医療を提供します

基本方針

- 1.患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
- 2.急性期医療を中心にして診療を進めます
- 3.救急医療の充実に努めます
- 4.地域の医療機関等との連携を推進します
- 5.国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
- 6.職員の教育、研修を充実させます
- 7.健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

私たちが患者さまの権利を尊重します



旭川赤十字病院職員行動規範 5つの約束

- 1.私たちは、来院される方と職員に笑顔で挨拶をします
- 2.私たちは、初対面の患者さまに、自己紹介をします
- 3.私たちは、電話の最初に、部署と名前を名乗ります
- 4.私たちは、患者さまに診察や説明をしたあとに「何かわからないことやご質問はありませんか?」とお尋ねします
- 5.私たちは、院内で迷われている皆様にお声掛けをし、ご案内します

発行

旭川赤十字病院 地域医療連携室

〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号
tel.(0166)22-8111(代表) fax.(0166)22-8287(直通)
URL <http://www.asahikawa.jrc.or.jp/> Email renkei@asahikawa.jrc.or.jp



2019年4月
春号
-Vol.36-

退職のご挨拶
救急の動きについて
がんサロン「ハートクロス」
外来担当医一覧表
人事消息～退職医師～





退職のご挨拶

～20年を振り返って～

旭川赤十字病院 副院長 住田 臣造

1999年8月1日当院に麻酔科部長として赴任して20年が過ぎました。この間に一つの医療機関が患者さんを急性期から慢性期まで診る時代から地域で医療機関連携を構築し急性期から慢性期を分担して診る時代へと改革が為されました。私が担当した救急医療も時代の要請に沿った脱皮をして参りました。赴任直後より救命救急センターの充実化が課題となり2000年に改革が為されました。消防および医療機関からの依頼を受ける24時間対応専用電話“ホットライン”的設置と麻酔科救急科を中心に牧野脳外科部長(現院長)と中村外科部長(現滝之上町立病院院长)によるホットラインの救命救急センター当直を設け、一般病院当直をウォークイン患者のみの診療を行う当直体制を敷いたことです。これは図1に示した旧体制の問題点が浮き彫りとなり、消防並びに医療機関の先生方よりの改善要望に沿う事と救命救急センターの質的評価を受けた結果によるものでした。この改善により円滑な救急患者の受け入れ診療体制確立が為されました。2年後には年間救急車搬入台数が2000台から4000台、医療機関からの依頼件数も2000件を超えるものとなりました。救急外来の体制も看護師配置を増員し診察ベッド数も3台から6台へ拡張して対応を行いました。一方、連携医療機関の先生方から「ホットライン医師から患者情報を詳しく聴取され、煩わしい」との苦情?も寄せられました。これについては「医師同士の患者情報

伝達ですので、可能な限り対応をお願い致します」とお答えし、先生方の協力も得られるようになりました。感謝いたします。さて、当院にも危機的状況が生まれ、連携医療機関にもご迷惑をおかけしたこともあります。この20年間には種々の危機が在りました。医師卒後初期研修体制から大学派遣医師打ち切り問題に病院経営改善の波が重なりました。小児科、産婦人科撤退に加えて消化器内科撤退危機に直面し、次に精神科撤退となり上川管内の精神科救急体制が崩壊しました。更に整形外科救急診療危機が起こりました。当院の診療体制が縮小すると上川圏ばかりでなく道北全体の救急医療体制が影響を受けるため、行政(保健所)と医師会にも加わって頂きその都度、地域救急医療体制維持の調整をしていただき危機を乗り越えることが出来ました。また、現在の当院が順調に救急患者を受入れることが可能にならしめているのは、連携医療機関が急性期以降の患者さんの受け入れを円滑に出来る体制構築に積極的にご協力していただいた“おかげ様”と感謝いたします。本当に地域全体で医療を支え、住民に安心安全の提供が可能になっていると実感しております。

大きな事業である道北ドクターヘリが運航開始して10年目となりました。3つの使命(①現場救急②医療過疎地域への高度医療提供③地域住民へ安心安全を提供)を掲げて道北(上川、留萌、宗谷3振興局)、オホーツク(遠



軽・紋別)、空知(芦別・深川)に十勝(清水・新得・芽室・鹿追・上士幌)の運航圏の要請に応じて飛行を重ねております。「地域医療連携の糸」を結ぶ重要なツールとして、これからも活躍してまいりますのでご支援を宜しくお願い申し上げます。

最期に昨年経験した胆振東部地震による電力ブラックアウトは、当院が道北の災害拠点施設として皆様と連携して対応をすることの重要性を示してくれました。緊急の課題として広域災害情報システム(EMIS; Emergency Medical Information System→各医療機関の安否情報と公助要請システム)の周知徹底と活用する教育が求めら

れていますことを実感しました。3月には上川管内の医療機関のEMIS入力講習会を上川保健所と共に開催しました。今年度からは道北の各振興局と連携して医療機関の入力講習会を毎年開催する企画を提案しております。ご協力をお願い申し上げます。

旭川での勤務は旭川赤十字病院トータル22年+市立旭川病院2年で長きにわたりましたが、65才定年を迎きました。連携医療機関の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。有難うございました。

1

救急専従医体制施工前の問題点

医療施設から指摘された問題点

- ①転送・転院依頼するにも窓口が不明:個人的に各科の医師に依頼
- ②夜間の対応は当直事務もしくは看護師であり専門医師まで連絡が取れるのに時間がかかる。しかも説明を数回しなくてはならないことがある
- ③対応出来ないと断る当直医がいる

救急隊から指摘された問題点

- ①~③ 上記と同じ
- ④救命士への特定行為指示だしに時間がかかる
- ⑤当直医により対応が異なる



救急の動きについて～旭川赤十字病院の救急活動(紹介)～



2018年は救命救急センター長を務める私にとって印象深い1年でした。昭和53年7月1日に救命救急センター認定を受けてから今年度で40周年を迎え、その式典を通してこの地域での存在意義を改めて考えることができました。9月16日に発災した胆振東部地震では災害拠点病院として道北地区DMAT拠点本部としての活動、胆振3町では日赤救護活動の業務を担いました。道北ドクターヘリも運行開始以来事故なく9年が過ぎました。来年には10周年を迎えます。

救命救急センター開設当時は交通事故による負傷者数の増加が社会問題視され、交通戦争と言われていました。近年の救急の特徴は、「高齢化の急速な進行」だと考えます。

当院救命救急センターを受診される患者数は年々増加し、H28年度7,187名、H29年度7,823名、本年度はさらに増加することが見込まれています。それに占める65歳以上の患者数(全体に占める割合)は、

H28年度4,373名(61%)、H29年4,669名(63%)と増加しており、今年度もその傾向は変わりません。また、受診する高齢者数に占める入院割合(入院率)は、H28年度58%、H29年度59%と救急患者の高齢化と共に重症化が問題となってきたように思います。

H27年度の旭川人口ビジョンによれば、今後10年は老人人口が増加し、2030年にピークを迎える2040年頃まではほぼ横ばいで推移した後に徐々に減少へ転じると予測されています。しかし、これを支える医師数は今後も増加は見込めないと考えます。当然、現状の救急体制よりもさらに有効で効率的な体制を構築していくことが急務となります。救命救急センターを担う旭川赤十字病院、旭川医科大学と旭川医師会をはじめとする地域医師会とのさらなる協力が必要と考えます。

また、今後予想される救急体制の問題として外国人旅行者や就労者増加の問題があります。通訳の問題はもちろんですが外国人の日本観光が一般化す



れば、当然旅行保険に未加入な旅行者が増え、現在でも一部問題化している治療費未払いが大きな問題となっていくと予想されます。カード支払いや外国保険申請手続きなどかなりの事務負担が発生します。これらの外国人問題は、自治体や医師会を含む広範囲な組織間で検討していく必要があると思われます。

災害への備えは、当院の救急として大きな課題の一つです。今年度経験した胆振東部地震からは多くの課題が浮き彫りになりました。大きな課題としては日赤としての救護班派遣の継続維持や他組織との連携体制の未整備が挙げられます。この反省から上川保健所主催のEMIS入力訓練への協力、北海道ドクターヘリの災害時運行調整(机上)訓練の実施などを行いました。災害では、自助、共助、公助が大切と思われます。自分の病院が災害に耐えられるよう備え、医師会を中心とした地域医療体制の連携を確立し、保健所を中心とした国・自治体の災害支援

活動に協力していくことが大切と考えます。これらの様々な課題に対して、当院救命センターとして今年度は少しでも具体的な対応策を明示できるように努力していきたいと考えます。

文責／旭川赤十字病院 副院長
小林 巍





がんサロン 〈ハートクロス〉 Heart Cross

がんサロンの紹介

当院は、平成25年より北海道がん診療連携指定病院の認定を受けております。当該認定は、がん診療に関する集学的治療の提供体制やレジメンの管理・病診連携・セカンドオピニオン体制等、基準以上の整備がなされている施設が認定されるものとなっております。毎年10月に北海道へ報告し認定更新を行っており、今回は、基準要件である「がんサロン」についてご紹介します。

がんサロン「ハートクロス」について

がんサロンは、がん患者様やご家族様が療養体験や気持ちを分かち合い、話したいことを自由に語れる場やほっと一息つける場所として、多くの方にご利用いただいております。

当院のがんサロンには、がんに関する専門の看護師や医療ソーシャルワーカーが在室しておりますので、病気や治療についての情報提供や相談を受ける場としてもご利用いただいております。また、がんに関する書籍や冊子、がんに関する地域の情報なども掲示しております。

毎月第2木曜日には、医師をはじめ院内のがんに携



がんサロン 「ハートクロス」ミニ講座のご案内

- 開催日時:毎月第2木曜日(祝祭日を除く)
10:00～12:00、14:00～16:00
- 開催場所:当院外来棟地下1階
がんサロン「ハートクロス」
- 対象者:がん患者様・ご家族様であればどなたでもご利用いただけます
- 受講料:無料

事前予約は不要ですので、直接会場にお越しください。駐車場ご利用の方は、駐車料金が無料となりますので、会場にて駐車券をご提示ください。

旭川赤十字病院外来担当医一覧表

平成31年4月1日現在

	月	火	水	木	金
内 分 泌 内 科	池知 佑太	森川 裕子	森川 秋月	高橋 耕平	高橋 耕平
循 環 器 内 科	西宮 孝敏 西原 昌宏 清水 将輝	野澤 幸永 飛澤 利之	西宮 孝敏 西原 昌宏	飛澤 利之 清水 将輝 増田 拳	西宮 孝敏 西原 昌宏 増田 拳
消化 器 内 科	藤井 常志	石川 千里	齋藤 敦	松崎 伸幸	杉山 祥晃
	再 診	松崎 伸幸	齋藤 敦 石川千里(PEG外来)	杉山 祥晃	藤井 常志
	肝臓外来	阿部 真美	長谷部 千登美	阿部 真美	長谷部 千登美
血 液 肿 癢 内 科	小沼 祐一	佐藤 健	休 診	酒井 俊郎	休 診
呼 吸 器 内 科	須藤 悠太 北村 智香子	本田 宏幸 萬谷 峻史	萬谷峻史 須藤悠太	須藤 悠太 本田 宏幸	本田 宏幸 萬谷 峻史
糖 尿 外 来	森川 秋月 森川 裕子	高橋 耕平	池知佑太	池知 佑太	森川 裕子
腎 臓 内 科	松久 優雅	小林 広学	松久優雅	小林 広学	西沢 慶太郎
			柏柳杏美		
小 児 科	午 前	森田 啓介 森田 啓介	諏訪 清隆 森田 啓介	諏訪清隆	向井 德男
	午 後 (13:30～15:00)	向井 德男 諏訪 清隆	向井 德男 森田 啓介	森田 啓介 諏訪清隆	諏訪 清隆
脳 神 経 内 科	初 診	浦 茂久/田中 大貴 吉田一人(物忘外来)※1	上床 尚	畠 大(出張医)	吉田 一人
	再 診	田中 大貴	吉田 一人	吉田 一人	浦 茂久
総 合 診 療 外 来 ※2	休 診	休 診	休 診	休 診	浦 茂久

※1 物忘れ外来は地域医療連携室を通しての完全予約制となります。※2 総合診療外来は地域医療連携室を通しての完全予約制となります。

	月	火	水	木	金
外 科	平 康二	真名瀬 博人	市村 龍之助	平 康二	真名瀬 博人
	高野 博信	山本 和幸		西上 耕平	市村龍之助(肛門外来)
精 神 神 経 科	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診
整 形 外 科	高橋 滋 奥原 一貴	齋藤 千里 加茂 裕樹	高橋 滋 高木 建一 加茂 裕樹	高橋 滋 齋藤 千里	奥原 一貴 高木 建一 加茂 裕樹
形 成 外 科	丹代 功	堀越 久子	堀越 久子 田中あかね(出張医)	田中あかね(出張医)	丹代 功
脳 神 経 外 科 ※3	初診 ※4	担当医			担当医
	再 診	小泉 博靖 瀧澤 克己	小林 理奈 瀧澤 克己	牧野 憲一 櫻井 寿郎 (脳血管内治療外来)	竹林 誠治 瀧澤 克己
心 臓 血 管 外 科	休 診	小山 基弘	上山 圭史	休 診	上山 圭史
呼 吸 器 外 科	福永 亮朗	休 診	休 診	福永 亮朗	休 診
皮 膚 科	木ノ内 基史	木ノ内 基史	菅原 基史	木ノ内基史 ※5 (木ノ内 基史)	菅原 基史
	菅原 基史	菅原 基史			
泌 尿 器 科	堀田 裕	宮本 慎太郎	堀田 裕	宮本慎太郎	萬谷 和香子
産 婦 人 科	婦人科	林 なつき(新患) 玉手 健一(再診)	伊藤秀行(新患) 林 なつき(再診)	伊藤 秀行(新患) 玉手 健一(再診)	宮川博栄(新患) 宮川博栄(再診)
	産科 ※6	宮川 博栄	伊藤 秀行	林 なつき	伊藤 秀行 宮川 博栄
眼 科	太田 黙男	太田 黙男	休 診	太田 黙男	籠川 浩幸
	片岡 信也※7	片岡 信也		片岡 信也	片岡 信也
耳 鼻 咽 喉 科	初 診	長峯 正泰	藤田 豪紀	藤田 豪紀	高林 宏輔
	再 診	高林 宏輔	長峯 正泰	高林 宏輔	藤田 豪紀
歯 科 口 腔 外 科	岡田 益彦	岡田 益彦	岡田 益彦	岡田 益彦	岡田 益彦
	嶋崎 康相	嶋崎 康相	嶋崎 康相	嶋崎 康相	嶋崎 康相
	櫻井 彩瑛	櫻井 彩瑛	櫻井 彩瑛	櫻井 彩瑛	櫻井 彩瑛

※3 臨時手術、出張等で担当医師が変更となる場合があります。※4 初診担当医は日替わりとなります。希望医がいる場合、再診の外来日に受診をお願いします。※5 木曜日は手術のため、入院患者様の診療申込はお控えください(緊急時を除く)。※6 分娩等のご紹介については、産婦人科外来へご相談ください。※7 10:30～11:30不在となります。